

基礎看護学【診療援助技術】

担当教員	清水 真理子	所 属	専任教員
対象学年/開講時期	第1学年/後期	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的	診療（治療・処置・検査）に伴う技術を学ぶ。		
授業の形式	主として講義・演習を行う。		
成績評価の基準等	出席・授業の参加状況・課題・1回の筆記試験を総合的に評価する。		

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 第3版	メヂカルフレンド社

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	演習内容	教科書	担当教員
第1回 ～ 第9回	与薬	1. 与薬時の看護師の役割 2. 与薬実施上の原則 3. 経口与薬 4. 皮内、皮下、筋肉注射 5. 点滴静脈内注射	経口与薬法 皮内注射・皮下注射・筋肉内注射 点滴静脈内注射	①	清 水
第 10 回	輸血	1. 目的・種類 2. 実施上の注意 3. 輸血の方法			清 水
第 11 回	包帯法	1. 包帯法の目的・種類 2. 包帯材料 3. 巻軸包帯法・布拍包帯法		①	清 水
第 12 回 ～ 第 15 回	検査をうける 患者の看護	1. 目的 2. 検査時の看護師の役割 3. 各検査の目的および 採取法・介助法 4. 採血の実際 5. 穿刺(目的・種類・実施上の 注意) 6. 生体検査・検体検査 7. 身体計測の意義と実際	採血 身体計測	①	清 水
修 了 試 験					

*この科目は、実務経験のある教員による科目です。